

『天気予報に挑戦！』

栃木県 佐野市立犬伏小学校 5年

島田 愛奈

2年生の夏休みから雲の自由研究を続けてきて、今回は自分の雲の知識を生活に役立てたいと思った。以前から外出中に天気予報を見られないことに不便を感じていて、自分で予想をしてみようとテーマに決めた。

【研究の内容】

- ①1日に4回（9・12・15・18時）西を観察、スケッチし、雲の種類、天気、雲量、気温、湿度、風を記録。観測結果と今後の天気を予測する。
- ②気象庁の天気図・雲画像も参考にする。
- ③予想した翌日の天気の当たり・はずれについて考察。
- ④雲が出たとき、どのような天気になるか調べる。
- ⑤特徴的な日をいくつか選び、雲の種類・天気図・雲画像の関係性を調べるため、表にしてまとめる。
- ⑥その他のさまざまな気象現象をまとめる。
- ⑦天気予報ができるかどうか結論を出す。

【結果】

- ・30日間の天気予報：当たり20回、はずれ10回。
- ・3時間後の天気の予測（有効予測76回について）：特に正答率が高い…晴れが続く（94%）→3時間で天気が変わることは特別な雲がない限り少ないから。
特に正答率が低い…天気がくずれる（17%）・くもりになる（0%）→積乱雲を見つけられれば当たりやすい。
- 天気予報はある程度ならできるが、自力だけでは限界がある。天気図や雲画像を見たり、雲についてもっと詳しくなったりすれば、より正確な予測ができるようになると思う。